



わが家のアイドル

東本郷にお住まいの
中堀 祐輔さん・親子さんの

長男 **稟** と **都** くん (11か月)

僕といっばい遊んでくれる
近所の優しい七海おねえちゃん
あんよが出来るようになったら
お散歩行こうね



下田市はあいさつ運動実践中

あいさつは

にっこりえがおで

心から



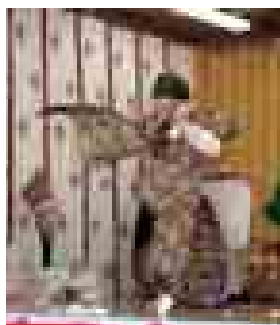
下田市内の指定文化財

その51

市指定無形民俗文化財

三番叟

所在地 白浜 白浜神社
指定日 昭和48年6月12日



白浜三番叟(翁と黒尉)

長細い本州の中間地点にあって、太平洋に突き出た形の伊豆半島は近世、江戸と上方を結ぶ海上交通の要衝でした。太平洋に面した天然の良港はどこも風待ち港として賑わい、北側は東海道に接していたため、海路・陸路を通していろいろな文化が伊豆にもたらされました。三番叟も江戸時代に伊豆半島の各地に伝えられ、多くの村々で盛んに伝承されてきました。時代は移り変わりましたが、その多くは廃絶し、現在まで伝承されている三番叟の数は往時に比べ激減しているものと思われれます。

下田市内でもかつては多くの地区で三番叟が伝承されていましたが、今日では白浜神社の奉納三番叟が伝承されているだけとなってしまいました。

白浜神社の三番叟

白浜神社の秋の例大祭には地元の若者によって三番叟が奉納されています。今年も10月24日(土) 早朝6時から神社の拝殿において「神三番」と呼ばれる三番叟が奉納されます。また、昼にはもう一度境内の舞台上において参拝者のために披露されます。

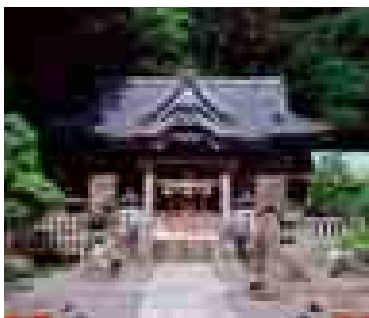
白浜神社の三番叟は、千歳翁、黒尉(黒面)の舞い手が各1名、鼓3名、大鼓1名、笛2名、かげ打1名の合計10名で演舞されます。

お囃子にあわせて、翁、千歳、黒面の舞い手が着座し、華麗な「千歳の舞」、ゆっくりすり足で舞う「翁の舞」、黒面が扇を持って活発に舞う「扇の舞」や鈴を振りながら軽快に舞う「鈴の舞」を演じます。女性の動作を演じる千歳、年

寄りの仕草の翁、はつらつとした速い動作の黒面と三者三様の動きが見所です。

江戸時代の中期、宝暦年間(1751~1764)の頃に始まったと伝えられる白浜神社の三番叟は村の農民が五穀豊穡や天下泰平を祈願して行われるようになったといわれています。現在では白浜の原田・長田・板戸地区の若者が毎年交代で奉納しています。

かつては、両親健在で人望のある独身の長男が1回だけ選ばれるという大変名誉な白浜の三番叟でしたが、近年ではその後継者確保が大変深刻な問題となっております。



白浜神社(伊古奈比咩命神社)

アクセス

下田駅より板戸一色行きバス
神社前バス停下車徒歩すぐ

問合せ先

教育委員会生涯学習課

☎ 250555



「広報しもだ」は再生紙を使用しています

広報しもだ 2009.10月号

下田市ホームページ <http://www.city.shimoda.shizuoka.jp/>